

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん



2024年度 年主題くさあ、漕ぎだそう 奏でよう

0・1・2歳児 4月主題 「はじめまして」「よろしくね」 **3・4・5歳児 4月主題 「出会い」**

月のねがい

◎神さまからお預かりしている大切な存在として生まれる
 ◎新しい環境の中で保育者や友だちにてあう
 ◎春の陽射しや風に心地よさを感じる
 ◎保育者と一緒に祈ったり賛美する中で心地よさを感じる
 ◎出会いやつながりを感じて、安心して過ごす

◎進級児も新入児も新しい出会いの中で、毎日祈りと賛美をする生活が始まる
 ◎好きな保育者、人、遊び、場所を見つけ、安心して遊び始める
 ◎花、草、砂、虫、春の自然に触れながら遊ぶ中でやってみたい気持ちが芽生える
 ◎新たに出会う保育者や友だちとの関わりの中で、また、新たな環境の中で安心して過ごす ◎芽吹く季節を感じ、自然の力と美しさを楽しむ



今月の聖句

「新しい歌を主に向かって歌え」 詩篇96:1

2024年度という新しい年度を迎えました。園の中では進級する子どもたちもいれば、こども園という新しい環境に初めて仲間入りする子どもたちもいます。そこには期待もあれば、不安もあることでしょう。大人であれ、子どもであれ、何事も新しい事を何か始める時には、似たような思いになります。

今月の聖句詩篇96篇も、実はそういう新しい始まりの中で生まれました。この歌が生まれたのは、イスラエル人がバビロンに捕囚とされていた70数年後でした。故郷を追われ、祖国を失い、やっと帰ることが出来るのです。もう世代も変わっていたことでしょう。彼らはその新しい始まりを心待ちにし、期待に胸膨らませていたのです。この詩篇にはそのような背景があります。まさに、今まで歌ったことのないような神を称える歌を、自ら味わって歌うことができるようになったのです。

子ども園の中で、新年度の始まりは同じような思いを抱かせることでしょう。子どもたちにも、その保護者にも、そして園の先生方にも、「さあ、新しい一年が始まる」という強い思いを抱かせることだろうと思います。その経験の一つひとつの中に、あるいはその背後に、人知を超えた神さまの取り計らいがあります。私たちはなかなかそのことに気が付きませんが、このお方は「万事を益となさる」神です(ローマ書8:28)。きっと、この一年も、子どもたちの成長に必要なことを全て備えてくださることでしょう。大きな期待をもって、子ども園の中に、そして神さまの御手の中に飛び込んでほしいと願います。

西之表基督教会協力牧師 池田基宣

4月の行事予定

6日(土)	入園式・新年度クラス会
9日(火)	始園式(1号午前保育)
~12日	1号新入園児慣らし保育
20日(土)	親子遠足
25日(木)	誕生会(2才以上4月生)
27日(土)	職員研修

5月の行事予定

7~11日	家庭訪問(3才以上)
14日(火)	誕生会(2才以上5月生)
25日(土)	めぐみ誕生会(4・5月)
27~29日	フリー参観(3才以上)
27~29日	給食試食会(3才以上)



空気

お母さんは
きれいな空気のように
やさしい愛を
一日じゅう注いでいる
子どもは
あたたかい空気のように
うれしい愛を
一日じゅう吸っている
どちらも気がつかずに

河野進

泣いてもいいよ!!

さわやかな春4月。新しいお友だちも加わって、いよいよ新年度がスタートです!

4月1日、お父さん、お母さんに連れられて新入園のお友だちも登園してきました。初めての場所で、知らない大人の人に声をかけられて不安いっぱいのお友だちは、大きな声で泣き出します。「おかあさん!!」。大きな声で、大粒の涙がポロポロと…。そんな涙が出てくるのと思うくらい、顔もぐちゃぐちゃにして泣きます。でも、泣くのは当たり前ですよ。大人でも初めてのことや場所は、とても不安な気持ちになります。

そんな時、園では「泣いてもいいよ!!」とメッセージを送ります。「我慢しなくていいよ。そう、お母さんがいいよね。大丈夫、もうすぐ、迎えに来てくれるよ!」

そう言いながら過ごしていると、なんとこの日は園庭に小さなショベルカーが入ってきて、土を入れる作業が始まったのです。すると、泣いていた子ども先生やお友だちと一緒にショベルカーの作業を見ながら、いつの間にか涙も乾いていました。2日目の朝はというと、お母さんと離れた時はひと泣きしたものの、スコップを持って砂場で何やらお友だちと遊ぶ姿があり、保育者の方がビックリしてしまうほどでした。少しずつでいいので、好きな遊び、好きな場所を見つけてきりすこども園の仲間になっていって欲しいと願っています。今年度もどうぞ宜しくお願いします。

絵本の紹介

あーんあーん

我が子が小さい頃、読んでいた絵本です。涙がたまって魚になってしまうところが面白くて、何度も何度も読みました。最後にお母さんが網でひょいっと助けに来てくれるところがほっとするようで、子育ての中でのあったかい思い出の本です。親として、子どもが大好きなことには変わりありません。そして、いつでも大丈夫!何か困ってる?手伝いましょうか?とメッセージを送りたいものです。 園長

せなけいこ 作・絵
福音館書店



目まぐるしく天候が変わる日々。葉を落としたセンダンの木も薄紫の花をつけ、風に吹かれて揺れています。新しく仲間入りした小さなお家や花壇の花々も、新しい子どもたちを歓迎しているようです。ご入園、ご進級おめでとうございます。改めて、ご縁と新しいご縁に心から感謝し、子どもたちの健やかな育ちを共に願ひ、祈りを重ねていきたいと思ひます。

本年度のキリスト教保育の年間主題は、「さあ、漕ぎだそう 奏でよう」が示されました。コロナ禍では、行事や活動に少なからず知恵と工夫が求められましたが、改めて、子どもにふさわしい生活とは何かを考え保育に向かいたいと思ひます。新しいワクワクした世界へ力強く漕ぎ出し、自分を十分に発揮し、生き生きと奏でていきたいという願ひです。年間主題は保育目標というものではなく、日々保育を営む中で、常に「立ち返る場所」として位置づけられています。保育者自身が神に愛される存在であることを味わい、日々歩んでいきたいと思ひます。

さて、新入園の保護者の皆様のためにも、改めて本園が大切にしている子どもが豊かに育つための栄養素をお伝えしたいと思ひます。子どもの育ちには、「**タイケン・タンケン・タイヘン**」が必要だと考えております。保育活動や行事で味わう様々な**体験(吸収)**。未知の世界へ興味・関心を寄せる**探検(探求)**。そして、少し**大変(克己)**なことにも挑戦する意欲。今年もこのキャッチフレーズで保育者も共に育ち合えればと願ひしています。また、子どもたちに園生活を健康に楽しく過ごすために目指すものとして、「**早寝・早起き・朝ごはん**」で**できれば朝ウンチ**を勧めています。そして、心の平安と育ちのために「**ありがとう**」を促しています。そして、嬉しい気持ちになる言葉「**ありがとう**」。静かな気持ちになる言葉「**ごめんなさい**」。元気が出る言葉「**だいじょうぶ**」。キリスト教保育に欠かせない愛の言葉だと思ひます。

集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、園生活は期待と不安の混じったものではないでしょうか。初めての環境は大人でも緊張します。何より「だいじょうぶだよ!」「泣いてもいいよ!」という言葉が安心へと導きます。「わたしたちは見えるものではないけれど、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去ります。見えないものは永遠に存続するからです。」と聖書にあります。神さまが与えて下さるこの環境の中で、**共に喜ぶ生活**を目指して参ります。子どもたちがあがるがままの「自分」をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と心を込めて寄り添うことができますよう努力してまいります。

六十七年目を迎える本年度も、職員一同心を尽くして努力して参ります。何卒ご支援の程を宜しくお願いいたします。

学園長

令和6年度新学期がスタートしました!

私たちが保育の中で大切にしたいもの

☆一人ひとりを大切に

子どもたちは神さまから命を与えられ、愛されているかけがえのない存在です。その個性と人格をありのまま受け止め、尊重することが第一歩です。信頼関係を築くなかで、子ども自身が自分を信じ、自分らしい歩みをはじめることが出来るように、絶えず応援したいと思います。

☆友だちっていいな!

友だちと遊ぶなかで、子どもは自分と他者の違いを知っていきます。たくさんのぶつかり合いや葛藤を通して、悩み、考え、やがて理解し合い、「共に生きる」ことを学んでいきます。認め合い、力を合わせることの楽しさ、喜びを味わうまでの道筋を大切にしたいと思います。

☆神さまの恵みを知り、世界に目を向ける

自然の美しさや不思議さに気づき、その恵みに感謝する心を育みます。けれども、世界に目を向けるとき、現実には人と自然との関係や、国と国との関係に多くの課題があります。人と自然との調和、世界の平和に、私たちがどう貢献できるのか、共に考え、祈り、やがて行動できる人になりたいと願ひます。

あさひがキラリとひかったら
こりがチチチとうたいだす
かみさまのつくられたこのせかいは
なんてなんてうつくしい
幼児賛美歌より 園長

☆知りたい、やってみよう!!

子どもが夢になって、生き生きと遊ぶ事は「生きる力」に繋がります。工夫したり、悩んだり、納得するまで繰り返す中で、思考力や騒動力そして、「意志」が育まれます。好奇心や探究心を大切に受け止め、子どもと共に心を動かしていきたいと願ひています。